

様式第 6 号(第 2 条関係)

委員会等の会議録

1	会議名	愛南町食育推進協議会	
2	議題	(1) 令和 6 年度の活動状況について (2) 令和 7 年度の活動内容について (3) その他	
3	開催日時	令和 7 年 10 月 16 日(木) 14 時 00 分から 15 時 55 分まで	
4	開催場所	愛南町役場本庁 3 階 大会議室	
5	傍聴者数	1 人	
出席者			
6	委員氏名	若林 良和、岡本 威明、猪野 ユカリ、浅海 裕紀、 蓮本 由美子、赤岡 政典、高木 貴子、上田 隆光、 清水 美和、清水 幸一、森岡 眞由美、前田 和紀、 谷口 さとみ、尾崎 千代子、竹田 英則、坂尾 良美、 木原 荘二、中尾 茂樹	
7	担当所属	所属名	保健福祉課
		担当職員 (職・氏名)	課長 中川 菊子 課長補佐 荒地 ミドリ 課長補佐 好岡 美智子
8	その他の 出席職員	所属名	保健福祉課、学校教育課、農林課
		出席職員 (役職・氏名)	健康部会 会長 清家 陽奈 教育部会 会長 河野 健太郎 産業部会 会長 福田 新夏
議事内容(次ページから)			

発言者	発言内容
中川課長	定刻になりましたので、ただ今から令和7年度愛南町食育推進協議会を開催します。 昨年度会長をしていただいた片山先生が異動されましたので、後任の清水先生に会長を引き継いでいただきました。 それでは、開会に当たり、清水会長が御挨拶申し上げます。
清水会長	(開会挨拶)
中川課長	ありがとうございました。 この協議会の協議内容については、事業の内容を多くの方々に理解していただくため、協議録をホームページで公開しています。会議の内容を録音しますので、御了承いただきますようお願いします。 また、委員の皆様には、令和6年度から2か年の任期で御参画いただいています。お手元の名簿を御覧いただき、今年度から新しく委員になられた方もおられますので、自己紹介をお願いします。初めに、若林委員、続いて岡本委員をお願いします。 続きまして、清水会長から反時計回りで、自己紹介をお願いします。
各委員	(自己紹介)
中川課長	ありがとうございました。皆様どうぞよろしくをお願いします。 なお発言の際は、皆様の前にマイクを置いていますので、ボタンを押して、マイクの先が赤く点灯していることを確認してから御発言いただきますようお願いします。 それでは、これからの協議については、会長に進めていただきます。清水会長よろしくをお願いします。
清水会長	議事に入ります。 (1)令和6年度の活動状況について協議します。 取組については、実践部隊である食育協働部会が様々な活動を実施していますので、主な取組について抜粋して説明をお願いします。 御意見、御質問については、協議事項(1)、(2)の説明が終わった後にさせていただきます。 それでは、健康部会から説明をお願いします。

清家健康部会長	（「健全な食生活を実践する」「健康な歯を保つ」「食に関する正しい知識を身に付け実践する」「食への関心を高める」「地場産物を積極的に利用する」の取組について説明）
清水会長	ありがとうございました。次に、教育部会の説明をお願いします。
河野教育部会長	（「健全な食生活を実践する」「規則正しい生活リズムを身に付ける」「健康な歯を保つ」「正しい知識を身に付け実践する」「食への関心を高める」「地場産物を積極的に利用する」の取組について説明）
清水会長	ありがとうございました。次に、産業部会の説明をお願いします。
福田産業部会長	（「食に関する正しい知識を身に付け実践する」「食への関心を高める」「地場産物を積極的に利用する」の取組について説明）
清水会長	ありがとうございました。次にその他の取組について説明をお願いします。
好岡課長補佐	（第14回食育推進大会、広報「あいなん」食育アカデミーの取組について説明）
清水会長	ありがとうございました。続いて、（2）令和7年度の活動内容について協議します。 昨年度策定しました第4次食育推進計画について、事務局から説明をお願いします。
好岡課長補佐	（第4次食育推進計画のポイント、変更点等について説明）
清水会長	ありがとうございました。次に、令和7年度の活動内容について、健康部会から説明をお願いします。
清家健康部会長	（「健康な歯を保つ」「食に関する正しい知識や食品を選択する力を身に付ける」「残さずに食べる（食品ロスを減らす）」「身近な地場産物に対する関心を深め、積極的に利用する」「食を通して

	愛南町に人を呼び込む」の取組について説明)
清水会長	ありがとうございました。次に、教育部会の説明をお願いします。
河野健康部会長	(「規則正しい生活リズムを身に付ける」「非常時への食に関する力をつける」「健康な歯を保つ」「誰かと食事を楽しむ(共食)」「食への関心を高める」「残さずに食べる(食品ロスを減らす)」「愛南の食の魅力を発信する」の取組について説明)
清水会長	ありがとうございました。次に、産業部会の説明をお願いします。
福田産業部会長	(「食へ関心を高める」「身近な地場産物に対する関心を深め、積極的に利用する」「愛南町の“食”を次世代に伝える」の取組について説明)
清水会長	ありがとうございました。その他の取組について説明をお願いします。
好岡課長補佐	(第15回食育推進大会、広報「あいなん」食育アカデミーの取組について説明)
清水会長	ありがとうございました。協議事項(1)(2)の全説明が終わりました。アドバイザーの委員から、それぞれの取組や成果に関する補足や御意見等ありましたらお願いします。
好岡課長補佐	欠席の委員からのコメントを報告します。 松山東雲短期大学の田中委員からです。 令和6年度の活動状況につきましては、各基本方針に基づき、子供から高齢者まで幅広い世代を対象とした非常に熱心な多くの取組を一丸となって実施していただき、心から感謝します。 令和7年度の活動内容につきましては、健康分野において、ライフステージごとにアプローチを行い、更に具体的な課題を抽出した上で、改善に向けた啓発活動や調理実習が実施されることに大いに期待しています。 特に高校生に対しては、今後の一人暮らしにも役立つ食の選択能力や調理能力の育成が重要です。高校卒業後に食生活が乱

	れがちである現状を踏まえ、愛南町の食育が継続されるよう、引き続き御指導を賜りますようお願いします。高校時代から家族の食事や自分のお弁当を作ってみるといった経験を積むことで、食に対する知識や実践力が育まれることを願っています。 次に、愛媛大学の間々田委員からです。 産業の観点から、10月1日から制度が変更され、サイトにおけるポイント等の付与停止のあったふるさと納税の影響がどの程度になるのか、注意して見極める必要があると思います。
清水会長	ありがとうございました。若林委員、全体について補足や御意見ををお願いします。
若林委員	3部会、その他の活動の報告ありがとうございました。 令和6年度に関しては、先生から御意見等もあったとおり、第3次計画の最終年度として3部会それぞれの活動に取り組んでいただきました。さらに、第14回食育推進大会を滞りなく実施してもらい、その上で、協議会、特に協働部会で、地域ぐるみという形で第4次計画の策定をしていただきました。 大学の先生方も、側面的な関わりしかできていないのですが、今日お集まりの協議会の皆様や、協働部会や事務局の方に頑張っていたことに感謝します。 私の立場からすると、県内の他自治体の取組についても関わる機会があるのですが、愛南町は「愚直」という言葉がぴったりだと思うのですが、手堅く、地域に密着した形で取り組んでいただいています。 この取組を、町内の皆さんだけでなく、県内外に積極的にPRしていく役割があるという思いがあります。 以上が令和6年度の総括です。 令和7年度は、冒頭にもお話がありましており、第4次計画ということで、とにかく地道に継続していくことになります。 食育という言葉の知名度のレベルから始まって、それはどのようなことを意味して、どのようなことをしなければいけないという認識になって、更に具体的にどういう行動をしなければいけないのかと、ステップバイステップで取り組んでいただいていると思います。第4次計画に沿っていろいろな取組を進めていければと思います。 改めてのお願いが二つあります。 一つは、是非この第4次計画を広くいろいろな機会を通して

	周知していただきたいと思います。皆様は、それぞれ地域の中での立場、組織のリーダーとしての立場がありますので、広く御周知いただきたいと思います。 もう一つは、令和7年度からの取組について御紹介がありましたが、引き続き、今日御参加いただいている各団体の方々と一緒に、いわゆる地域ぐるみで進めていただけるようお願いしたいと思います。 ここで、門田先生のことを紹介したいと思います。つい最近、ミカン料理のレシピ集を刊行されました。 一本松御出身で、愛南町に対して極めて愛着を持っておられる先生です。今年が大会の最後だと聞いていますので、ふさわしい人材なのではないかなと思います。 1月17日、18日は、大学の共通テストがあり、残念ながら食育推進大会に参加することができません。 この食育推進大会は、旧の一本松町時代から、文科省の指定を受けて手堅くやってきた取組です。 ある意味の真骨頂としてこの食育推進大会については、きちんとまとめて整理をしておこうかと思っています。 今年度も御支援と御協力をお願いします。
清水会長	若林委員ありがとうございました。食育推進大会のPR宣伝もありありがとうございます。本校でも、門田先生のミカンレシピ集を各学級と図書館において活用しています。 それでは、全体について、委員の御意見、御質問などありませんか。
中尾委員	若林委員が言われたように、私が指導主事として教育委員会にいた頃から、若林委員を中心に始まったこの食育がここまで継続されているとは、本当に感嘆します。敬意を表したいと思います。 御紹介ですが、ここで言うぎょしょく教育や食育というのは、実は今、台湾の大学院の学生や教授が非常に興味を持っていて、一昨年も40人ほど愛南町に来ていますし、今年も来年も来たいというような事例があります。 また防災も深く研究している町ですので、防災食についても、今年は岡本委員が、コオロギカレーを実際に作る、食べるという活動を、慶応大学の学生や愛媛大学の学生が福浦小学校に来て、子供たちと一緒に体験をしています。非常に具体的に進んでい

	るということをまず御紹介します。 そして、食べる、調理する、おにぎりの日もあります。お弁当は、買物から始まっています。家族の会話、実は今、探求という学習も教科になっています。南宇和高校でのこの学びは、いわゆる調理などの段取り力を付けるものです。 段取り力という目に見えないこの力、これを付けていくのに非常に有効な教育をしているということも、すごく先進的だと思います。 資料の5ページには、「つづける食育」の「規則正しい生活リズムを身につける」の「教育分野」の3番に「コミュニティースクールにおいて」という表現があります。実は、教員も勘違いしていますが、コミュニティースクールというものは無いのです。コミュニティースクールという仕組みのことなのです。こういう仕組みを導入して、という書き方にしなければいけません。ところが、令和6年度の場合は、「コミュニティースクールにおいて」と表現しているため、本質的に言えばこれは間違った書き方なのです。 つまり、コミュニティースクールという学校があるわけではなくて、コミュニティースクールという仕組みを導入するということは、各学校で学校運営協議会というものを行って、学校の運営を地域の人たちからしっかり意見をもらいながら、共に作っていくというもののなのです。 それが令和7年度になりますと、32 ページの3番でしっかり直っています。しっかり勉強されているのだなと安心しました。ありがとうございました。
清水会長	ありがとうございます。貴重な紹介と御意見ありがとうございました。その他ないでしょうか。
浅海委員	今年度から、言語聴覚士と一緒に活動されています。期待しています。 産業部会の取組で、今年、マラニックが1か月ずれました。去年は8月で相当暑かったと思うので、食べるどころではなかったのではないかと思います。1か月ずれたことで、食べやすかったのではないかと思いますので、量的なものや水分なども考えて出せたらいいのではと思っています。 6月のトライアスロンのアワードパーティーで、カツオをさばいたとお聞きしました。来年は、泊まる所が増えていますの

	で、アワードパーティーの参加者も増えるのではないかと思いますので、その辺もPRできるところではないかと思いをます。 千葉ロッテマリーンズに新人賞を受賞できるかもしれない西川史礁(みしょう)という選手がいます。彼にちなんで、美生柑、愛南ゴールドを、産業でPRできたらと思っています。
清水委員	ありがとうございます。産業部会かまいませんか。
福田産業部会長	美生柑のことも、前向きに検討させていただきます。 マラニックは、実際に1か月ずらしたことで、例年以上に完食される方も多くて、食に関する感想が増えていたので、食べやすい時期に移せたのかなと思っています。
清水会長	ありがとうございました。その他、御意見等ないでしょうか。
森岡委員	一本松小学校では、愛南町の食を次世代に伝えようということで、1年間の計画を立てて、婦人会、食を考える会、郷土の人などでいろいろな郷土料理に取り組んでいます。 特に新しい試みとして、自分たちの作った野菜でピザを作った取組は、子供と先生方が考えられたのだと思うのですが、手伝っていても楽しかったです。すばらしい取組だと思います。 郷土料理については、南宇和高校の先生で、是非郷土料理を教えてくださいという方がおられて、11月1日に御荘の公民館で実施するようになっています。いろいろ活動が広がっていて、とてもすばらしいことだと思っています。 トライアスロンでは、美生柑ゼリーを300食以上作って提供しています。以前は桜餅の提供もしていましたが、さくらんぼの葉っぱをとって作るのがとても大変でやめました。今、皆さんのお話を聞いて、はがもちでいいのだと思いました。はがもちは、愛南町以外では、あまり知られていません。いろいろ考えて、工夫して、皆さんに食べていただけたらと思っています。是非、一本松小学校で実施してください。
清水会長	森岡委員ありがとうございました。 この活動、取組がつながって、広がって、更に深まって、それから町内を飛び出ていろいろな所に知れ渡るといいなと感じています。

各委員	ほかに御意見等ないでしょうか。 (意見なし)
清水会長	それでは各委員からいただいた御意見、御提案を、各部会委員にも共有し、協働部会の活動につなげていただきたいと思います。 続いて、(3)その他について事務局から説明をお願いします。
好岡課長補佐	食育推進大会の今後の方向性についてです。 学校への負担が大きいこともあり、今年度の一本松小学校を最後に、町指定の食育指定校がなくなります。 食育推進の取組については、関係課や関係団体で連携し、協力を得ながら定着してきて、継続して実践できていると感じています。 現在、年1回食育推進大会を実施していますが、参加者が固定化してきています。そこで、現在開催している食育推進大会は、今年度を最後に中止とし、その代わりに現在行っている事業を地域へ広く周知したいと考えています。 例えば、広報紙での情報発信は継続し、広報紙以外にも、新たにケーブルテレビや新聞等を活用した情報発信に力を入れていきます。また、現在学校や保育所で実施している各関係機関の教室、農林課の柑橘教室や野菜の植付け教室、水産課のぎょしょく教室、保健福祉課の子どもの食育教室、学校での栄養教諭による食育教室、保育所での食育教室などを公開し、保護者や地域の方に見に来ていただけるようにしていくことで、より多くの人に食育を推進していきたいと考えています。 今後は、年間を通じて身近なところで、地域の方々に参加していただけたらと考えています。
清水会長	ありがとうございました。アドバイザーの委員から御助言や御意見等ありましたらお願いします。
好岡課長補佐	今日欠席のアドバイザーの御意見を御紹介します。 愛媛大学の岡本委員からです。 広報紙を活用した情報発信をしながら周知していくことや、ケーブルテレビや新聞等を活用して、周知していくことに力を入れていくこと、現在行っている事業を公開し保護者や地域の

	方に見に来ていただけるようにしていくことで、食育を推進していくということに賛成です。 これまでに我々も、教育部会で似たような取組を行っています。昨年度は城辺中学校で、今年度は一本松小学校で、それぞれヤマキ株式会社さんの協力を得て、出汁の魅力を知る食育事業を実施しました。引き続き、学校での食育事業を実施していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。 愛媛大学の間々田委員からです。 土曜日、日曜日の実施という点を見ても、近年の働き方に関する考え方から中止はやむを得ないかと思います。 教員個人や家族も含めた健康があってこそその学校教育現場での食育なので、平日に無理なく続けることが重要かと思います。食育の実施が負担にならないよう、柔軟な取組をしていただけたらと思います。
清水会長	ありがとうございました。今の説明について、御意見御質問などありませんか。
若林委員	少しコメントさせていただきます。 まず1点目は、食育推進大会はもう、永遠の終わりなのか、それとも中断なのかということです。 今年度を入れて15回の大会を継続してきて、最初は一本松小学校が文科省の認定を受けて補助金が付いていて、それがなくなっても、愛南町がずっと地道にやってこられたっていうわけです。少なくとも小学校でやるこの大会はもうしませんという判断でいいですか。
荒地課長補佐	はい。今のところはそう考えています。
若林委員	分かりました。 それが悪いと言っているわけではなく、食育推進大会も15年経ったため、見直す必要性があるとは思いますが。 今後中止にするなら、ここで皆さんの了解をもらわないといけないのではないかと思います。 とりあえず大会という形式は、これで完了とし、ただ目的趣旨に従った形で、三つの部会で積み上げてきた取組を、きちんと周知をしていく方向でいいですか。 学校現場での話は、以前から聞いているので、その代替案をひ

蓮本委員	つくるめて、これでいいかという了解を得た方がいいと思います。 事務局から、学校での食育推進大会は、一本松を最後にやめると言われたのですが、やめると言ったので、先生が少し気にされたのかなと思います。 私は食生活改善推進協議会の役を何年もしていて、まだ、食生活改善というものがよく分かっていない時から、高齢の方や小学校の中で、何かしてくださいと言われて始めました。 最初は自分の料理の腕を磨こうと思って始めて、そのうち変わってきて、ずっと今までしてきました。トライアスロンやマラニックでも活動してきました。それから、森岡委員が言われた「はがまもち」も普及してきました。 食育の取組で、小学校に入っていて、今年も6校入る予定です。学校それぞれで作っている野菜を活用しながら、献立を考えて活動しています。 これまで、学校や文化センターであった食育推進大会にも、何年も参加してきました。一生懸命、栄養士さんと一緒にいろいろと10年取り組んできて、大分身に付いてきたので、もう大会がなくても活動は継続していくことができます。この会議も大事ですし、学校に入って活動することも大事だと思っています。
竹田委員	若林委員が言われた、食育推進大会の中止ということは、健康、産業、教育の3部門から、食育推進協議会に上げて、そこで中止を可決してくださいという話ではないかと私は思いました。3部会の方が、今から大会を中止しますよ、次はこういう形でこうやりましょう、と説明をして、会長は、採決したらいいのではないかと思います。
若林委員	中止する理由がよく分からないという話ですよね。おそらく学校に負担が掛かっているのだなということはそのとおりだと思います。その負担感はやはりどう考えても、15年前の形式のままでずっとしてきた中で、教職員も子供たちも含めて負担も大きいと思います。 そもそもの理由をちゃんと説明した上で、その代わりに第4次計画の取組をバージョンアップしていきますよという説明の仕方をしてもらった方が良かったなと思います。 委員の皆さんにはそのことを御理解いただいて、大会の中止

	でいいか確認する必要性はあると思います。 食育活動は通常の事業として定着してきているので、その門戸を広げて、いろいろな地域の方、保護者の方に、年間を通じて周知する形をとる方がいい、大会をすると食育に関心のある人しか来ないため、公民館や学校を通じて地域の人などに広く周知していく方向に形を変えようかという話になったのですね。 基本的には、今の状況を考えると、私個人としては、大会は中止でいいと思っていますので、皆さんの御意見を伺ってください。
荒地課長補佐	説明不足で申し訳ありません。この会議の前、に部会長全員と話し合いをさせていただいて、「食育活動は、通常の事業として定着してきているので、門戸を広げて地域の方、保護者の方に年間を通じて周知する形の方がいいのではないか。」、「大会をすると、どうしても関わりのある食育に関心のある人しか来ないので、公民館や学校を通じて、地域の人に広く周知していく方向に形を変えよう。」という話になりました。 確かにこの会で承認をいただくべきではあるのですが、なかなか意見が割れるので、こういう方針でいかせていただきますという報告になってしまいました。若林委員すみません。 この場を借りて、大会の代わりに教室等いろいろな場面で周知していくということで、了解していただける方は挙手をしてください。
各委員	(承認)
荒地課長補佐	ありがとうございます。若林委員、御意見ありがとうございます。
若林委員	その上で、もう一度繰り返しののですが、第4次計画で取組を徹底したものを、より質的にという拡充をした形で、活動事業の周知と、取組を積極的に展開していますという話ですね。
荒地課長補佐	はい、おおむねそうです。
若林委員	もう一度、健康、産業、教育部会の3部会長で、それぞれどういう風にするかきちんと話した方がいいと思います。

荒地課長補佐	部会長会で一度は検討していますので、随時検討していきたいと思います。
清水会長	ありがとうございました。 一本松小学校の推進大会で一旦中止になりますが、一本松小学校としても、イベント的にこの活動をするのではなくて、今年度の取組が次年度以降も継続するように、また、学校での取組が、家庭にも伝わっていくような方法で、地域、学校、家庭の地域ぐるみでしていきたいと考えています。 貴重な御意見ありがとうございました。 その他、食育全般について御意見御質問などはありませんか。
森岡委員	第 14 回愛南町食育推進大会の時にとても感心しました。 原田栄養教諭が、給食センターの中の様子、働いている人、どのような機械があるなどについて、とても分かりやすい発表をされました。 私たちのような一般の住民は知らないことなので、ケーブルテレビで放送したらいいと思います。子供たちの給食で、周りの人がいろいろ頑張って作っていることや、郷土の特産物も入れて作っているということがよく分かるのではないかと思います。とてもいいお話でした。 それから宇佐先生にも、とても優しく分かりやすくお話ししていただきましたので、婦人会でも、是非来てもらいたいというような話も出ました。ありがとうございます。
若林委員	森岡委員がおっしゃったとおり、ケーブルテレビでいろいろと発信するという話をされているので、具体的に、取組をできるだけ収録して周知するというのを、是非お願いしたいと思います。 最近、夜型人間になっていて、日曜日の午後 11 時ぐらいに、ケーブルテレビで愛南町のニュースをやっているのを見ています。木原副町長や中尾教育長も出られていて、愛南町の情報をそこで仕入れてます。 メディアを活用して、是非、一生懸命取り組んでいることをまとめて、愛媛 CATV で情報提供していけばいいと思います。子供たちの頑張ってる姿や、高齢者の皆さんがいろいろなことをしておられることなど、トータルに情報を集めてケーブルテレビに流すことができると思います。各部会で考えながら、食

	育推進の取組をしていただければいいのではないかなと思いました。
清水会長	若林委員ありがとうございました。 周知の方法等、具体的に教えていただき参考になります。 休日などのくつろぐ時間にも愛南町のことを常に気にかけていただいていること、感謝します。ありがとうございます。 先ほど森岡委員が言われた給食センターについては、児童生徒が見学できるような見学スペースがあり、先日、一本松小学校の2年生も見学をさせてもらいました。実際に見て、いつも食べている給食は、いろいろな人が関わってくださっていることや、大きな調理道具で、衛生面にも大変気を付けて作ってくださっていることなども感じて、いつも以上に感謝しながら給食を食べています。そういう様子もケーブルテレビ等を使って啓発できたらいいかなと思いますので、よろしくお願いします。 そのほか、御意見等ないでしょうか。 事務局お願いします。
荒地課長補佐	(第3次愛南町総合計画の施策：次世代につなぐ子ども・子育ての充実、健康・医療体制の充実について説明)
清水会長	情報提供ありがとうございました。これについての御意見は後日事務局までお願いします。
若林委員	言葉足らずで、皆さんに不快な思いをさせていたらごめんなさい。今後も、事務局と一緒に取り組んでいけたらと思います。 私は愛南町に、ふるさと納税をしています。 引き続きよろしくお願いします。
清水会長	若林委員の愛南町の食育推進にかける熱い思いは皆さんに伝わっていると思います。引き続きふるさと納税は継続していただけたらと思います。よろしくお願いします。 では、協議を終了したいと思います。御協議ありがとうございました。
中川課長	清水会長ありがとうございました。 また委員の皆様、熱心な御協議ありがとうございました。 先ほどの第3次愛南町総合計画の後期計画に向けての御意見

木原副会長 中川課長	等につきましては、事務局に御連絡いただきますようお願いいたします。 それでは、閉会に当たり、木原副会長が御挨拶申し上げます。 (閉会挨拶) ありがとうございました。 以上をもちまして、令和7年度愛南町食育推進協議会を閉会します。どうもありがとうございました。
--------------------------	--